



高橋 松 一  
(令和クラブ)



高橋議員の  
動画はこちら

質問項目

- ・人口減少・高齢化の状況について
- ・災害復興・復旧の現状と今後の災害対策について
- ・地域会議の現況について
- ・自然環境を活かしたまちづくりについて

# 人口減少・高齢化をどう受け止めるか

## 地域に大きな影響を及ぼすと認識

**議員** 人口減少・高齢化

現象は全国的な傾向。当市でもこの傾向、早くから露呈、住民も既に承知のこと。当局はこの現況をどのように受け止め、喫緊の課題などは明らかにすべき。そのためには市民・住民の理解・協力も必要。当然、状況報告があつていいのでは。

**総務企画部長**

当市の本年1月末の人口は2万8015人。昭和38年の9万2128人をピークに減少、以来これまで様々な施策を講じてきたが歯止めをかけるまでに至っていない。65歳以上の高齢化率、

令和2年の国勢調査時点で約40%と全国平均の約28%を大きく超え、国の関係研究所の推計は、2050年の高齢化率、約50%に達し、

市民2人に1人が高齢者になり、人口減少は地域に大きな影響を及ぼすとの認識。令和8年度から「第六次釜石市総合計画後期基本計画」が始動する。多様な地域資源、現代の技術の活用を視野に、未来を見据えたまちづくりを推進していく。

**議員** 近年、地球の温暖化だろうが、異常な寒暖の変化、多雨による雨水・土

砂災害などが多発傾向、その対策に協力した住民、土地の所有者・協力者・地域住民への慰労の声と合わせ、これら災害対策のため、国や県からの補助金等の支援への考え方は。

**建設部長**

尾崎白浜地区の土砂災害対応は令和元年台風第19号により同地区の集落内に土石流が発生。一部が冠水、住家全壊2件、一部損壊10件と大きな被害が発生。その後、災害検証事業による現地調査の結果、被害拡大の要因を突き止

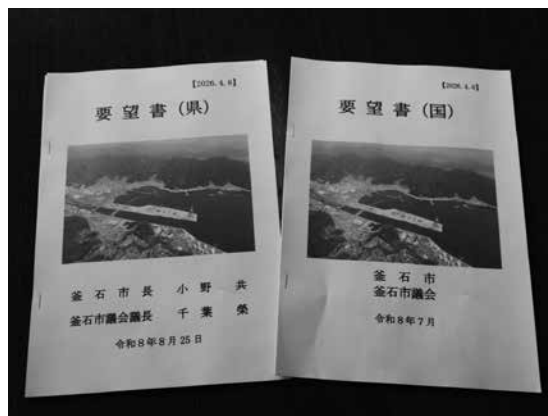
め、早急な対策工事を実施。災害からの復旧・復興を着実に進めていくために

は、国からの補助金等の継続的な支援が必要。特に防災・減災対策、公共土木施設の災害復旧は市民の安全・安心を守る施設が重要と捉え、国に対して状況を丁寧に説明するとともに、迅速かつ確実に取り組む。

**議員** 主要な砂防堰堤完成後にもかかわらず、下流

部の対策が全くおろそか。その後の大雨のたびにせつかくの土地の提供者、堰堤下流部の住民はそのたびに被害に悩んでいる。関係者は早急に現地に出向き対策を急ぐべき。

**建設課長** 早速調査、点検をし対応する。



国・県に対する要望書